



特集

みどりはらりを育はむまち

4月16日(月)、若草小学校で、登別・白石姉妹都市交流推進協議会と教育委員会の主催による『こけしの絵付け教室』が行われました。

この日は、こけし作りが盛んな白石市から宮城県伝統こけし連合会理事の佐藤英雄さんが講師として訪れ、6年生76人に指導。

子どもたちは、こけしの原木に、水彩絵の具で思い思いに顔や着物などを描きました。まゆ、目、口など表情の細かい部分を描くときには、真剣なまなざしで絵筆を使うなど、熱心にこけし作りを体験(写真)しました。

私たちの生活に潤いや安らぎを与えてくれる『みどり』。
『環境の世紀』といわれる21世紀の幕が開け、人々の目
が『みどり』に向けられています。

みどり豊かな自然に恵まれている私たちのまち登別市で
も、市街地に目を向けると、みどりは減少しつつあります。

今号では、豊かな郷土のみどりを守り育て、子どもたち
に引き継いでいくために不可欠な緑化推進の取り組みを特
集します。

特集

みどりを育むまち

はぐく

トンボやチョウは、どこへ

近年、熱帯雨林の減少や酸性雨による森林被害、大気中の二酸化炭素の増加とそれに伴う地球の温暖化など、環境を巡る問題がクローズアップされています。

また、「地球にやさしい」や「自然との調和・共生」、「癒し」といった言葉が、毎日のようにテレビや新聞、雑誌などのマスメディアで目にするようになるなど、「もの豊かさ」から「心の豊かさ」を求める時代へと、人々のライフスタイルや価値観が変化しています。

こうした私たちを取り巻く環境への意識の高まりに伴って、人々の目が「みどり」に向けられるようになりました。

それでは私たちのまちは、どうでしょうか。

「わたしたちは 古い歴史と美しい自然に恵まれた登別の市民です」と始まる登別市民憲章。確かに登別は、支笏洞爺国立公園内に位置し、豊か

な自然に恵まれたまちです。

南東部は太平洋に面し、外縁部にはカムイヌプリや鷲別岳、来馬岳などの山々が連なり、オロフレ峠からは、山々の緑が広がる登別の雄大な自然景観を望むことができます。

しかし、みどり豊かな自然に恵まれた登別においても、近年の急激な都市化の進行などにより、そのみどりは減少しつつあります。

登別に長く暮らしている方に話を伺うと、「トンボやチョウウなど、随分減ったね。サンショウウオはまだいるのかな」とか、「子どものころにたくさんセミをとった林を思い出し、子どもを連れて行ってみると、セミどころか、林が消え、真新しい住宅が建ち並ぶ住宅地が変わっていた」など、自然環境の変化を心配する答えが返ってきます。

このことは、これらの生き物の生命をはぐくむ場のみどりが、私たちの身近な領域から失われてきていることを意味しています。

その一方で、市民の活動に目を向けると、近年、ふるさとの自然を守り育てようと、市民団体により川や動物、昆虫などをテーマに市民参加の講演やイベントを開催するなど、活発な活動が行われるようになってきています。

こうした状況の中で、私たちにとっての快適な環境が形づくられ、心の豊かさが感じられる社会の実現のためのキーワードが『みどり』です。人間と自然が共生できる基盤とし

ての豊かなみどりの環境をつくるためには、今あるみどりを保全し、そして可能な限りみどりの量を増大させ、質の向上を図ることが必要となります。

生き物の生命をはぐくむ環境である土壌や大気、水などが一体的に形づくっている空間『みどり』には、多種多様な効用があり、私たちが安全で快適な生活を送る上で、『みどり』は欠くことのできないとても大切なものです。

みどりの効用

1 精神的充足

みどりは、人々の心を和ませ、精神的な安らぎや落ち着きを感じさせてくれます。

2 気象条件の緩和・大気組成の維持

みどりは、日射や熱を吸収するほか、風や霧の影響を和らげるなど、地域の気象条件を緩和します。

3 生活環境の安全性の確保

みどりは、雨水を蓄えることにより洪水や濁水を軽減し、水質を浄化するほか、木々の根が土壌をしっかりと抑えることにより土砂災害を防止します。また、都市域のみどりは、火災時の延焼防止、防風、防音、遮光などの働きがあります。

4 保健・休養・レクリエーションの場の提供

みどりは、人々に居心地の良い木陰を提供し、休息や散策、自然とのふれあいなど、さまざまな活

動のよりどころとなります。また、最近では森林浴などのみどりそのものの持つリフレッシュ機能も注目されています。

5 まちの景観・イメージの向上

みどりは、街路や住宅地、商店街などを美しく装い、まちの景観に生命感、季節感を与えるものとなります。また、豊かなみどりは、観光客など訪れる人々に対して、まちのイメージアップにも大きな効果があります。

6 生物種の生息環境の形成

森林などのみどりは、多種多様な生物の生息空間となり、自然生態系の基盤となります。

河畔のみどりは、生物が山から海へ行き来できるみどりの回廊となります。また、広葉樹林の腐葉土から染み出した水は川を伝って海に至り、魚類などの繁殖に必要な栄養分を供給します。

まち中の身近なみどりも昆虫や鳥類などの棲み家となり、都市域に生命をはぐくみます。

みどりを育む

こころをつなぐ

市は、平成8年度にスタートした「登別市総合計画」の中で、まちづくりのテーマのひとつとして「自然とともに暮らすまち」を掲げ、みどりの環境づくりは、自然環境の保全や各種公共施設の整備など多くの施策に取り入れられています。

平成9年4月には、市内の各種団

体の代表者などで構成する登別市緑化計画策定委員会により、市民、企業、行政が一体となって、みどり豊かなまちづくりを進めるために、市内全体を対象とした総合的な緑化計画『登別市緑化計画（グリーンスピリットプラン）』を策定しました。



この計画では、50年後、100年後の登別の姿を思い描き、目標像や基本方針などを定めており、市はこの計画に基づき、多くの市民、企業の参加を得て、みどりづくりを進めていきます。

『グリーンスピリットプラン』

みどりの目標像

『みどりを育むところをつなぐ、元気で豊かなみどりあふれるまち…のほりべつ』

- 一つひとつのみどりが元気に息づき、それらがまとまって豊かなみどりがあふれるまち
- 市民一人ひとりがみどりを育む心を持ち、意識の広がるまち

森林のような大きなものから、

Green Spirit Plan

住宅の庭木のような小さなものでさまざまなタイプのみどりを次の3つのタイプに分け、

- ・ 森林などの広がりのあるみどりを「面のみどり」
- ・ 道路や河川のように長く連続するみどりを「線のみどり」
- ・ 公園や住宅地のように単独で成り立つみどりを「点のみどり」

それぞれのみどりを保全し、創出を図りながら、「点のみどり」と「線のみどり」をお互いに結び、市街地内のみどりのネットワークを形成し、さらには「面のみどり」とつなげることで、豊かなみどりの環境を創り出そうとするもの。

みどりの環境づくりの推進にあたっては、市内全体を見据えたみどりの環境づくりについて、その方向性などを検討するため、市民企業、専門家などからなる『緑化推進協議会』を設置し、この計画実施に向けての意見や進捗状況の点検、課題についての協議を行う。

Green Spirit Plan



▲緑化推進協議会の様子

また、行政や企業との連絡調整緑化の指導、維持管理などに関する協力体制づくりやフラワーネットワークづくりに取り組む市民緑化団体の育成を進めることなどが定められている。

それでは、この『グリーンスピリットプラン』に定められたみどりの目標像の実現のため、3つの基本方針に基づいて、現在進められている主な事業や取り組みを見てみましょう。

◆基本方針1 みどりを守る

今あるみどりを将来に向かって守り育てます。

近年宅地開発が進んでいる登別東町5丁目には、ミズバショウの群生地があり、多くの野鳥が飛来し、さまざまな生物が生息しているなど、市街地における貴重なみどりの空間となっています。この緑地を土地の所有者からお借りし、『登別自然緑地』（面積約1万7千平方メートル）として市民に解放しています。



▲登別自然緑地



▲ミズバショウ

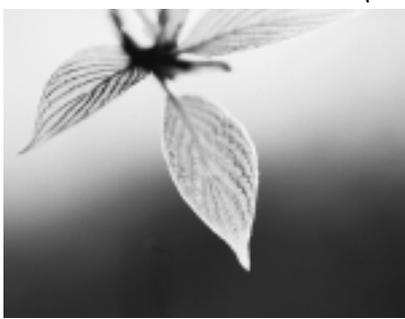
また、若山町2丁目の湿原については、保全する方向で、現在市民会議を開催し、その利活用について協議を進めています。

◆基本方針2

みどりをづくり豊かにする

身近なみどりの量を増やし質を高めるとともに、それらをつなぎみどりのネットワークをつくりまします。

市は、これまでも公園や広場、街路、各公共施設周辺などの植栽や、町内会が地域の公共施設などに樹木などを植栽する市民緑化推進事業、市民の結婚や誕生、入学などを記念して植栽を行う市民記念植樹など、市民参加のもとに緑化の推進を図っています。



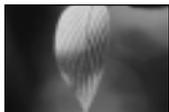
▼緑化イベント『ラブグリーンフェスティバル in KAMEDA』を楽しむ子どもたち



▲JR幌別駅前の花壇に花の苗を植えるボーイスカウト登別第1団の子どもたち(沿道美化事業)



▲入学を記念して幌別小学校の校庭に植樹する1年生(登別市緑化推進協議会主催)



特集 はぐく
みどりを育むまち



▲登別市みどりづくりのマニュアル

◆基本方針3
みどり文化を育てる

一人ひとりがみどりとの日常的な関わりを深め、みどりを大切にする心を養い、みどりの環境づくりへの意識を高めます。

豊かなみどりづくりの第一歩は、私たち一人ひとりの身近な生活空間から始まります。

このため、みどりに触れ合う機会を増やすとともに、みどりに関する



▲市から配布された花の苗を沿道の植樹ますに植える新川第二町内会のみなさん(市民緑化推進事業)

平成13年度緑化推進事業			
区分	事業名	内容	時期・協力団体
みどりづくりの推進	市民緑化推進事業	全町内会を対象に樹木・多年草などの植栽の希望を募り、地域住民の協力のもと、公園・道路などの公共施設に植栽する。	5月中旬
	花いっぱい運動	地域の美化活動の一環として、公共施設へのプランターの設置や地域の団体などへの花の苗の配布を行う。	6月下旬 登別市民憲章推進協議会
	沿道美化事業	町内会や商店会、児童などの参加のもと、弁景幌別線などの沿道花壇に、草花の植え込みを行う。	4月下旬・7月中旬
	市民記念植樹事業	結婚・誕生などの記念植樹者を募り、記念者やその家族が植樹を行う。	10月第3日曜日
	沿道緑化事業	みどりの少ない国道沿い空地や道道室蘭環状線の植樹ますなどに樹木を植えたり、花苗などを植える。	未定、登別市緑化推進協議会・町内会
	試験育苗事業	緑化推進協議会と町内会が中心となり、種からの育苗活動を進めるため、試験温室で苗づくりを行う。	4月中旬～7月中旬ころまで
緑化意識の普及・啓発	緑化イベント『ラブグリーンフェスティバル in KAMEDA』	亀田記念公園でみどりにちなんだ各種イベント(みどりの市、金魚すくい、ウオークラリー)を開催する。	6月9日(土)・10日(日)
	みどりの教室	家庭園芸や庭木の手入れなどをテーマに、市民対象の講習会を開催する。	年2回開催(秋・春)
	みどりの講演会	市民の緑化意識啓発のため、自然やみどりについての緑化講演会を行う。	年1回開催
	グリーンデータバンク	家庭で不要になった樹木などの有効活用を図るため、受け取り希望者への仲介を行う。	毎月『広報のぼりべつ15日号』に掲載
	みどりづくりマニュアル	生け垣や庭木、花づくりなど家庭のみどりづくりに関する市民向けのマニュアルを作成する。	不定期発行、市役所市民ロビー、各支所などで配付

正しい知識や情報の発信を通じて、一人ひとりのみどりに対する意識の高揚、啓発を図るため、専門家を講師に迎え、講習会や実技指導の開催、庭木の植え方や管理の仕方など、分かりやすく解説した小冊子『登別市みどりづくりマニュアル』の配布、みどり豊かな亀田記念公園でのみどりにちなんだ各種イベントの開催などをを行っています。



▲3月に開催されたみどりの講習会『コニファーを使ったコンテナガーデン』

未 豊かな郷土のみどりを、

森林や公園、並木、庭木などのみどりは、潤いや安らぎなど魅力ある生活環境をつくるための重要な要素のひとつであるとともに、未来に残すべき貴重な財産です。

現在、市では『グリーンスピリットプラン』のほか、将来のまちづくり



まつやま
松山 惇さん

若山町在住。登別緑化推進協議会委員として登別市緑化計画の推進に努めるとともに、会長を務める若葉町内会では、同協議会が中心となって進める試験育苗への協力や花壇づくりを行うなど、地域の緑化に積極的に取り組んでいる。

花壇づくりや植栽を通して地域の交流を

若葉町内会では、環境部の美化班が中心になって花壇づくりに取り組んでいます。みなさんにとっても喜ばれているようです。

特にお年寄りの方には、「毎年、この花壇に花が咲くのを楽しみにしている」と好評です。

苗植えのときには、たくさんの方が集まり、とても楽しそうに作業をしています。

町内会では、花壇づくりのほかに、公園や川沿いに桜の木を植栽するなど、地域の緑化活動を行っています。みなさん積極的に参加して

くれます。

町内会の花壇づくりや植栽は、地域の景観を良くするというばかりでなく、町内会のみなさんの交流の場にもなっていますね。

このころは、「町内会の役員のなり手がいない」とか、「隣近所の交流が少なくなつた」といった話を、よく耳にします。

これは、少子・高齢化が進んでいることを考えると、とても深刻な問題だと思えますよ。これからは、より地域で交流を深め、お互いに協力し、助け合いながら生活していか



▲若葉町内会の花壇は、花いっぱい運動の花壇コンクールで、平成11年まで3年連続で最優秀花壇に選ばれている。

ければならない時代でしょう。そういった意味からも地域のイベントや町内会の行事に参加してほしいですね。

それから、企画する側も、小さなお子さんからお年寄りの方まで、幅広い年齢層のみなさんが参加できるイベントや行事を考えなければなりません。

わたしは、地域の行事として、花壇づくりや植栽は、とても良いと思います。花や木を嫌いという方は、あまり聞きませんし、子どもと一緒に参加することもできますから。

各地域には、公共施設の周辺や空き地など、花や木を植えられるところがまだたくさんあると思います。行政や土地の所有者に協力してもらうこともできるのではないのでしょうか。

こういった動きが広がれば、きっと登別の景観や地域活動の活性化にもつながっていくのではないのでしょうか。



✓りについて基本的な計画を定める『まちづくりアクションプラン』の計画のひとつで、緑地の適正な保全と緑化の推進をより総合的かつ計画的に進める『みどりの基本計画』の策定に向け、市民のみなさんに参加していただきながら作業を進めていきます。

しかし、『グリーンスピリットプラン』も『みどりの基本計画』も市民一人ひとりの理解と協力がなければ、絵に描いた餅になってしまうかもしれません。

市の事業や町内会、市民団体、企業の緑化活動などを通じ、あるいは自らがみどりの大切さについて理解を深め、緑化に取り組むことで、この掛け替えのない豊かな郷土のみどり環境を守り育て、未来に生きる子どもたちに引き継いでいきたいものです。

特集

はぐくみどりを育むまち



おののみつこ
尾野美津子さん

趣味を生かして 自分のまちを素敵に

若山町在住。花とみどりの庭づくり愛好会『花くらぶ』（平成12年9月発足。会員35人）の代表として、花づくりの情報交換や花づくりの先進地の視察を行うなど、花とみどりの愛好家のネットワークづくりに努めている。

また、個人でパンジーの苗づくりを行い、見学者や会員にその方法などの情報を提供している。

『花くらぶ』は、ガーデニングの講習会などで、知り合ったみなさんが、お互いに情報交換し、ガーデニングをもっと勉強しよう、昨年秋に発会した、できたての会です。情報紙を年3回発行する予定ですが、まだ会員の趣味の勉強と交流の範ちゆうを越えるものではありません。

それでも、自分のまちを花や木で美しくしたいという気持ちは、みなさん一緒ではないでしょうか。

私は、ガーデニングが魅力ある景観づくりに生かされているまちを見

学に行ったりしますが、登別でも同じことができるように思います。同じ地域で暮らすみどりに関心のある方が、集い、情報交換をして、庭に同じ花や木を植えたり、玄関通路に敷くブロックやレンガなどをそろえたりする。それだけで、魅力的な景観ができあがります。さらに園芸店などが賛同し、ガーデニングの知識や手ごろな価格で花や木の苗を提供してくれたら、ガーデニングは、もっと盛り上がると思いますね。実際に、ガーデニングの盛んなまちでは、そんな例があります。



▲『花くらぶ』会員のみなさん

登別でも駅前や繁華街などで、大きな鉢や木樽などのアイテムを活用し、花や木で通りを飾るようになると、まちの景観がとも魅力あるものになると思いますね。

現在、ガーデニングが人気を呼んでいます。その根底には花やみどりで庭を美しく飾り、自分の家庭だけではなく、同じ地域に暮らす方や庭の前を通る方にも眺めて楽しんでもらう、そんな開かれた考え方があってはならないでしょうか。

みどりへの思いが個人の趣味から地域づくりへ、さらにはまちづくりへと向けられる。そして、自分が住んでいるまちが、素敵にまちになっていく。

登別が、魅力ある素敵にまちへと装いを変えていくよう、みんなで力を合わせたいですね。

パソコンって意外と簡単！



▲図書館で行われたIT講習会

～IT講習会開講～

5月17日(休)から『IT講習会』が始まりました。このIT講習会は、一人でも多くの市民のみなさんが、パソコンの基本操作をはじめ、インターネットや電子メールを利用できるよう、市が無料で開催するもので、この日図書館で行われた講習会には、主婦や会社員など19人が参加。5人の市民講師の指導で、電源の入れ方やマウスの動かし方など、パソコンの初歩的な操作から講習を受けました。

参加した常盤町の高橋森二さん(73歳)は、「わかりやすい説明で、パソコンが意外と簡単に操作できることを知りました。栃木県に住む息子や孫たちとメールをやり取りできるようになればうれしいですね」と話しながら画面に見入っていました。

なお、このIT講習会は、来年3月までに合計124回の開催を予定しており、約2,400人の方が受講できます。

※7月に開催予定の講習会の詳細については、13ページの『情報あらかると』をご覧ください。

受章 ～春の褒章～ おめでとうございます



やまもとしげじ
山本茂治さん(64歳)
登別東町2丁目35-3

らんじゅほうしやう 藍綬褒章

昭和42年に登別町議会議員に初当選以来、7期25年の永きにわたり議会議員として活躍されるとともに、数々の要職を歴任し、特に平成9年から2年余り議長として議会の円滑な運営に尽力しました。

また、着実な発展を続ける登別市において、常に指導的な役割を果たし、地方自治の伸展に尽力しました。



▲パソコン操作を指導する市民講師

山頂からのパノラマを満喫 ～カムイヌプリ山開き・市民登山会～

5月13日(日)、登別山岳会主催によるカムイヌプリ山開き・市民登山会が開催されました。

「神の・山」を意味するカムイヌプリ(標高750[㍎])は、登山道が整備され、四季を通じて道内各地から登山を楽しむ愛好家が訪れています。

この日は、青空が広がる登山には絶好の天候に恵まれ、約100人の参加者は、新緑やかれんに咲く野草などを観察しながら約2時間で頂上に到着。幌別市街の向こうに広がる太平洋をはじめ、羊蹄山や樽前山など、山頂からのパノラマを満喫していました。



自然に親しみ、土とふれあう ～市民農園開園～

5月7日(日)、市民農園が開園しました。

市民農園は、自然とのふれあいや高齢者の生きがいづくり、親子のふれあいの場となることを目的に昨年札内町に開園されたもので、貸し出しする、1区画約50平方[㍎]・40区画のすべてに申し込みがありました。

昨年も市民農園を体験した横山正一さん(富岸町)は、「農作業はとても楽しいですね。去年は、きゅうりやジャガイモなど10数種類の野菜を植えました、満足できる出来栄でした。自分で育て、作った野菜の味は格別です。今年も去年と同じように楽しみながら作物を育てたいですね」と収穫の期待に胸を膨らませ、笑顔で話してくれました。





▲サケの生涯について説明を受ける富岸小学校3年生の児童

春のコートに気持ち弾ませ ～初心者テニス教室～

5月8日(火)から、岡志別の森運動公園で文化・スポーツ振興財団主催の『初心者テニス教室』が始まりました。

市民にもっとテニスを楽しんでもらおうと、平成10年から毎年春に開かれている同教室に、今年は主婦やお年寄りなど38人が参加しました。

初日は、あいにくの霧雨まじりの天気。少し緊張した様子で登別テニス協会の会員から指導を受けていた参加者は、しだいに落ち着きを取り戻し、気持ち良さそうにボールを打ち返していました。

なお、同教室は6月8日まで毎週火・金曜日に開催されます。



親子でのんびり完走しました ～第26回こいのぼりマラソン大会～

5月5日(土)、市営陸上競技場で登別市子ども会育成連絡協議会主催の『第26回こいのぼりマラソン大会』が開催されました。

この大会は、3・5・7キロのコースに分かれ、自分のペースで完走することを目的としたもので、親子連れなど3歳から71歳までの男女200人が、五月晴れの下、春風を受けながら心地良い汗を流しました。



3キロの小学校女子の部で、1位でゴールした鹿野内裕子さん(9歳)は、「初めて参加しました。つかかったけど、楽しく走れました」とうれしそうに話してくれました。

大きくなって帰って来てね ～サケの稚魚放流～

4月24日(火)、富岸川で富岸小学校4年生の児童によるサケの稚魚の放流が行われました。

このサケの稚魚の放流は、昨年11月、(財)日本釣振興会北海道登別支部と登別さけ・ます孵化場の協力で、同校の総合的な学習の時間に採卵と授精を体験した児童が、サケの卵を譲り受け、学校で孵化や飼育の学習を続けてきた約250匹の稚魚を放流したものです。

同校の3クラス110人の児童は、北海道ボランティア・レンジャーの河上清一さんから、サケの生涯について説明を受けた後、早速児童一人ひとりが、7センチほどに育ったサケの稚魚を春の川面に放しました。

放流を体験した菊地慧君(同校4年生)は、「少し寂しいけど、大きくなって帰って来てほしいな」とサケの里帰りを楽しみにしていました。



学習を通して、潤いのある人生を ～老人大学・大学院入学式～

4月24日(火)、市民会館で平成13年度登別市老人大学・大学院の入学式と始業式が行われました。

老人大学総長の上野市長が「21世紀は、高齢者の方が社会を支える主要な構成員となり、活躍への期待が大きくなる時代です。蓄積された豊かな知識や経験を生かしてください」と式辞を述べた後、61人の新入生を代表して高木盛さんが「学習を通して、豊かで潤いのある人生を築き、ここで出会う多くの仲間とのふれあいや交流を楽しみながら、学んだ成果を地域社会のために役立てるよう努力します」と誓いの言葉を述べました。

新入生を迎えて学生総数が500人を超えた老人大学は、今年度、市内の小学生との世代間交流をはじめ、IT講習会の受講や見学旅行など、来年の2月まで楽しく学ぶ予定です。



今月の健康料理



料理紹介
登別市食生活改善
推進員協議会
熊野京子さん

彩りもきれいで、簡単にできるヘルシーな料理です。野菜がおいしくいただけます。

今月の料理

野菜の中華和え

〔材料…4人分〕

もやし……………1袋
きゅうり……………中くらい1本
にんじん……………中くらい1/2本
ロースハム……………4枚
卵……………1個
油……………小さじ1杯弱
塩……………少々
〔かけ汁〕
しょうゆ……………大さじ2杯
酢……………大さじ1/2杯
ごま油……………大さじ1杯
練がらし……………少々

作り方

- ①もやしは根を取り、熱湯でゆでる。
- ②きゅうり、にんじん、ハムは千切りにする。
- ③卵は薄焼き卵にし、千切りにする。
- ④①と②を混ぜ合わせ、薄焼き卵の千切りを中央に飾って、かけ汁をかける。

栄養価
(1人当たり)
エネルギー 123kcal
たんぱく質 7.4g
塩分 1.5g

▼問い合わせ 保健福祉課

(しんた21内 ☎0100)

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

在宅福祉ボランティア とわの会



お年寄りが、住み慣れた我が家で、家族とともに笑顔で暮らせるお手伝いを

『とわの会』は、平成元年度から登別市社会福祉協議会が行ってきた寝たきり高齢者の入浴介護サービス事業を手伝っていた市内三つのボランティア団体を中心となり、平成3年に結成された在宅福祉のボランティアサークルです。

平成6年度に『しんた21』がオープンし、お年寄りと体に障害のある方を対象に、入浴や給食などのサービスを提供するデイサービス事業が始まってからは、そのお手伝いを中心に奉仕活動を続けている。

現在会員は、30代から70代までの女性22人で、月曜日から土曜日までの毎日、二人ずつの会員が、10時から15時15分まで、デイサービス利用者の送迎や歩行の介助、食事の準備入浴後のお世話などを行っています。

会長の植田正子さんは、「利用者様が『来て良かった』と喜んでもらうため、温かい気持ちで利用者に接する



▲デイサービス利用者の入浴後のお世話をするメンバー。

ように心掛けています。お年寄りとお話することで交流ができ、自分自身の勉強にもなります。会員のほとんどが主婦なので、家庭などで落ち込むことや家事に追われる日には、今日は、行きたくないという日もありますが、お年寄りの方から『元気がないね、どうしたの』と逆に声を掛けられ、励まされると頑張れます。会員全員がこのボランティアをしていて本当に楽しいと言ってくれます。ほかの団体からお手伝いの依頼がきていますが、これからも、無理をしないで、自分たちのできる範囲で地域の力になっていきたいですね」と優しく話してくれました。

『とわの会』では、会員を募集しています。性別は問いません。詳しくは植田さん(☎9412)までお問い合わせください。



ちよこせと びじねす

住宅地でゴミを燃やさな いでくたせ

春の快晴の一日、私は今年も不快な思いをしました。

近所で、住宅地の真ん中にもかかわらず、畑や庭から出たゴミや木くず、また、ダンボールなどたくさん紙を燃やしているのです。私は早速、洗濯物を家の中に入れ、窓を閉めなければなりません。

このような自分勝手な人を翌日も近くで見ました。ウオーキング中に目が痛かったのはいうまでもありません。このような人の行動からダイオキシンが発生するのです。有料ゴミ袋に入れてゴミステーションに出していただきたいと思えます。

ご近所の方も「なかなか言えなくて」と困っているのです。暖かな日差しや優しい春の風はみんなのもの。この恵みを味わいたい人が、周りにたくさんいることを考えて、ゴミを住宅地で燃やさないでください。

(一市民)

登別の自然の良さを 改めて感じたい

3月に配布された『のぼりべつ自

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

情報推進課

☎(85)6586

FAX(85)1108

Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

然景観マップ』を興味深く見ました。

この地図は、写真がふんだんに使われており、お勧めの探索コースや所要時間なども紹介され、暖かくなつたらぜひ散策しようと心待ちにしています。

私は、登別に長く住んでいますが行ったことがない場所もあり、意外と良いところがあるんだと、感じました。

最近、大分暖かくなってきたので、散策の予定を立てようと、しまつてあった地図を取り出して、再び眺めているところです。

これをきっかけに、改めて登別の良さを感じてみたいと思えます。

(一市民)

花と緑がいっぱいのまちを わたしの ガーデニング



コンテナを利用し、立体感のある庭を演出

やまぐち
山口キミさん
若山町2丁目43-82

鉢や樽、ポットなどに花を植え庭を飾るコンテナガーデンを始めて4年目になるという山口さんのお宅の庭には、寄せ植えされたピオラやネメシア、ロベリアなどの花々が彩り鮮やかに咲いています。

「コンテナ（容器）やフラワースタンドを利用すると、庭が立体的に見え、花が映えるようです。寄せ植えや鉢やポットを並べ替えて配色を楽しんだりできるのも魅力ですね」とコンテナガーデンの魅力を話す山口さんは、毎朝、水をやったり、花殻を摘んだりと庭の手入れに余念がありません。

「花とふれあっていると、日常のストレスから解放され、心も体も元気になります」。

競うように花が咲く初夏を山口さんは楽しみにしています。

花と緑に関するお問い合わせ
都市計画課 (☎85 4 1 1 5)



あすなろ

たかだ さとる
高田 暁さん(28歳)

藤田設備工業(株)勤務

経験を積んで、大規模な水道管の工事に挑戦したい



コンクールで練習の成果が十分出せたことがうれしい

「大きなコンクールで入賞することができて、夢みたい」と笑顔で話す佐藤さん。

今年で3回目を迎えた『万里の長城杯国際音楽コンクール』は、日中文化交流の一環として開催されているもので、ジャンルはピアノをはじめ、声楽や弦楽器、管楽器などの6部門。対象は、小学生から一般まで幅広く、演奏の技術や表現力が競われます。佐藤さんは『ピアノ中学生部門』に出場し、予選を通った11人中5位に相当する奨励賞を受賞しました。

「今まで、いろいろなコンクールに出場しましたが、今回はプレッシャーを感じることもなく、練習の成果を十分出せたので、とてもうれしい受賞でした」とコンクールを振り返ります。

佐藤さんがピアノを始めたのは4歳のとき。自分から進んでピアノを習いたいとレッスに通い始めました。

「2歳のときから音楽教室に通い、楽器に慣れ親しんでいたせいか、4歳のとき、自分からピアノのレッスンに通わせてと親に頼んだそうです。小学4年生ごろからコンクールに出場するようになりました。あのころは大勢の前で演奏することが楽しかったですね」



▲札幌コンサートホールで演奏する佐藤さん

とピアノを習い始めたエピソードを話す佐藤さん。

中学生になって、ピアノの本当の楽しさがわかってきました

「中学生になってからは、心にも余裕ができて、ピアノの本当の楽しさが分かってきました。今年の1月に、札幌コンサートホールの『Kittara』で演奏したときは、ピアノを続けてきて良かったなと思いました。音楽は聴いたり、歌ったり、楽器を弾くことによって、心身をリラックスすることができるというわ、医療や福祉の分野で取り入れられているそうです。将来は今まで続けてきたピアノの技術などを生かし、音楽療法の道に進みたいと思っています」と将来について話してくれました。



KIRARI

さとうりえ
佐藤理絵さん(桜木町)

4月に東京で開催された中国音楽理事会主催の『第3回万里の長城杯国際音楽コンクールピアノ中学生部門』に出場し、奨励賞を受賞した佐藤理絵さん。

7月に、大阪で開催される同コンクール入賞者による披露演奏会に向けて、桜木町の自宅で練習に励む佐藤さんにお話を聞きました。

ピアノの技術を生かして音楽療法の道に進みたい



昭和62年、登別市生まれ。14歳。
緑陽中学校3年生。4歳からピアノを習い始めて10年。コンクールにも数多く出場し、入賞も多数。部活動は美術部。趣味は音楽鑑賞。

6月

7月

日 月 火 水 木 金 土
 1 2
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30

日 月 火 水 木 金 土
 1 2 3 4 5 6 7
 8 9 10 11 12 13 14
 15 16 17 18 19 20 21
 22 23 24 25 26 27 28
 29 30 31

情報あらかると

『通訳ボランティア』を募集します

市は、国際交流ボランティアの活動に対する意欲と責任を持ち、外国語の通訳者として交流事業などの活動に参加できる方を募集します。

▼登録期間 平成13年7月1日～平成14年3月31日

▼応募締切 6月29日(金)

▼応募資格 市内に居住または通勤する20歳以上の方

▼申込方法 市役所市民コーナーまたは各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、お申し込みください

▼申し込み 国際交流室
 (☎1130)

『国民健康保険運営協議会』の委員を募集します

国民健康保険事業の適正な運営を図るため、国民健康保険運営協議会を設けています。

市は、この協議会に広く市民のみなさんの意見を反映させるため委員を募集します。

▼応募資格 市内に居住し、次に該当する方

① 国民健康保険に加入されている20歳以上の方(昭和56年7月2日以前に生まれた方)

② 20歳以上の方(昭和56年7月2日以前に生まれた方)であれば国民健康保険の加入の有無は問いません

▼募集人数 ①と②各1人

▼任期 平成13年7月1日～平成15年6月30日(2年)

▼申込方法 国民健康保険を含む健康保険制度についてのご意見を800字(400字詰め原稿用紙2枚)以内にまとめ、住所、氏名、生年月日、職業、電話番号を記入の上、6月14日(木)(必着)までに保険年金課まで、郵送またはご持参してください

▼選考方法 提出されたレポートをもとに選考します

※詳しくはお問い合わせください。

▼申し込み 保険年金課
 (☎059-8701 中央町6-11
 ☎1771)

6月1日から30日は水防月間です

これから雨量が多くなる時季です。日ごろからテレビやラジオなどの天気予報で注意報・警報に十分注意するよう心がけましょう。

問い合わせ
 総務課(☎1130)

7月

受講者募集

IT講習会

7月の講習会日程

講座番号	開催日	時間	場所	定員	備考
F-1	7月2日(月)～7日(土)	18:00～20:00	日本工学院北海道専門学校	40	夜間開催
C-3	7月3日(火)～4日(水)	9:30～16:30	若草つどいセンター	20	
D-3	7月10日(火)～11日(水)	9:30～16:30	鷺別公民館	20	
E-3	7月12日(木)～13日(金)	9:30～16:30	婦人センター	20	
B-3	7月12日(木)、13日(金)、18日(水)、19日(木)	9:30～12:30	市民会館	20	託児サービス(1歳児以上)
B-4	7月12日(木)、13日(金)、18日(水)、19日(木)	13:30～16:30	市民会館	20	託児サービス(1歳児以上)
F-2	7月16日(月)～19日(木)	18:00～21:00	日本工学院北海道専門学校	40	夜間開催
C-4	7月17日(火)～18日(水)	9:30～16:30	若草つどいセンター	20	
A-6	7月18日(水)～19日(木)	10:30～17:30	市立図書館	20	
B-5	7月20日(金)～21日(土)	9:30～16:30	市民会館	20	
D-4	7月24日(火)～25日(水)	9:30～16:30	鷺別公民館	20	
A-7	7月25日(水)～26日(木)	10:30～17:30	市立図書館	20	
E-4	7月26日(木)～27日(金)	9:30～16:30	婦人センター	20	
F-3	7月30日(月)～8月4日(土)	18:00～20:00	日本工学院北海道専門学校	40	夜間開催

※8月以降の講習会日程については、今後の『広報のほりべつ』でお知らせします。

パソコンの基本操作から、インターネットや電子メールの利用を学ぶことができます。今回は夜間の講習や託児サービス(無料)つきの講習もを行います。お気軽にご参加ください。

- ▶講習内容 パソコンの基本操作やインターネット、電子メールが利用できる基本的な技能(1講座12時間程度。5月～6月に開催された講習会と同じ内容です)
 - ▶対象 市内に居住する20歳以上でパソコン操作の未経験者・初心者の方(5月～6月の講習会を受講された方は受講できません)
 - ▶受講料 無料(テキストは当日会場でお貸しします)
 - ▶申込方法 市役所総合案内、各支所、各会場に備え付けの「申込用紙」に必要事項を記入の上、市役所、各支所、市民会館若草つどいセンター、図書館、婦人センターへ提出してください
 - ▶申込期間 6月1日(金)～6月15日(金)
- ※希望者多数の場合は抽選を行い、結果は6月25日ころまでに全員に郵送でお知らせします(抽選は講座ごとに行いますが、B-3・B-4の2講座は託児サービスの利用を希望される方が優先されます)。

問い合わせ

情報推進課(情報政策)
 (☎5109・FAX1108)

『市職員出前フリートーク』を実施しています

『市職員出前フリートーク』は、市職員が少人数（3人〜20人程度）のグループのもとへお伺いし、まちづくりや市に対する要望などについて、気軽に懇談するものです。

また、市が取り組んでいる事業や計画、さまざまな制度など（公共下水道・年金制度・医療費助成制度・介護保険制度・税金のしくみなど）みなさんが知りたい情報についても市の担当職員が分かりやすくご説明します。

懇談を希望するグループは、事前にお申し込みください。

▼申し込み 情報推進課（広報広聴）
☎ 6586

歯周疾患検診を行います

歯肉炎や歯槽膿漏しきうろうろうの予防は、40歳を過ぎたところがポイントです。お口の中の健康も大切にしましょう。

▼月日・場所

● 6月19日(火)：しんた21

● 6月29日(金)：鷺別公民館

▼受付時間 9時45分〜10時

▼対象 満40歳以上で、自分の歯がある方

▼定員 各日10人

▼検診料 無料

▼申し込み 6月15日(金)までに電話

で保健福祉課 ☎ 0100

消火器による事故防止及び消火器の訪問販売に注意

消火器による事故が発生しています。置き場所や管理の悪い消火器、耐用年数（おおむね8年）を超えた消火器は、使用時に破裂する危険がありますので、次のことに注意しましょう。

- 高温、多湿、腐食性ガスや潮風のあたるところなどに置かれた消火器は、耐用年数を超えていなくても、使用できないことがあります。
- さびや腐食、変形した消火器は、専門業者に処分を依頼しましょう。※自分では絶対に処分しないでください。

◎市内で消火器を取り扱う消防設備業者（有料）

● ホクト通信(有)（大和町1丁目2-10）☎ 3322

● アシストテック(有)（新生町6丁目2-16・フリーダイヤル0120

7356）

◎消火器の訪問販売に注意

最近消防職員などを装った消火器の訪問販売によるトラブルが多くなっています。消火器を購入するときは次のことに注意し、不審に感じたときは、最寄りの消防署にご相談ください。

※家庭に消火器を備える法的義務はありません。また、消防署では消火器の販売、業務を委託していません。

せん。

▼問い合わせ 消防本部 ☎ 9611 または各支署

登別市指定給水装置工事事業者の追加指定のお知らせ

事業者名	所在地	電話番号
アオイ工業(株)	函館市赤川町45-5	0138-460389
登別管工事業協同組合	幌別町5-25-7	☎ 3379

▼問い合わせ 工務課

☎ 5510

陸上競技講習会と指導者養成講習会を開催します

〜文化・スポーツ振興財団主催〜

▼日時・場所 6月16日(土) 14時〜16時30分 市営陸上競技場（雨天時は幌別中学校）

▼対象 陸上競技指導者と陸上競技に興味のある小学5年生以上の方

▼内容 陸上競技の基本的な練習方法

▼講師 竹内伸也たけうちしんやさん（東海銀行女子陸上競技部監督）

▼受講料 無料

▼申込方法 6月12日(火)までに、団体（学校、サークルなど）は受講者名簿（様式は自由）を直接またはファクスで、個人の方は電話で総合体育館へお申し込みください。

☎ 5552 FAX 5579

☎ 5552 FAX 5579

第25回道民芸術祭

第32回胆振芸術祭

『俳句登別大会』の俳句募集

9月23日(日)に、市民会館で開催される『俳句登別大会』への俳句をお待ちしています。

▼対象 胆振管内に居住する高校生以上の方

▼参加料 1千円

▼投句方法 社会教育課（市民会館内）に備え付けの投句用紙に必要な事項と、兼題（当季雑詠）・課題

『駅』の計2句の作品を記入の上、7月1日(日)（当日消印有効）までに千葉清一ちばせいいちさん（〒059-0014 富士町4丁目45-3）あてに郵送してください

▼問い合わせ 社会教育課 ☎ 1129 または登別俳句協会・千葉さん ☎ 2486

室蘭商業高校マンドリン部演奏会を開催します

〜登別環つくり市民委員会主催〜

▼日時 6月9日(土) 18時30分〜19時30分

▼場所 クリニクルセンター『市民ギャラリー』

▼入場料 無料

▼定員 250人

※6月5日(火)から6月7日(木)までクリニクルセンターで入場整理券を配布します。

▼問い合わせ 環境資源課（クリニクルセンター内）☎ 2958

☎ 2958

☎ 2958

情報あら

育児サークル『ひよこランド』の会員を募集します

育児サークル「ひよこランド」は、一緒に遊ぶ仲間を募集します。同じ年ごろの仲間と一緒に楽しく遊びませんか。



▼日時 毎週木曜日 10時～11時30分

▼場所 新寿の家（登別サテイ内）

▼対象 1歳以上入園前のお子さん

▼会費 月額500円

▼申し込み 広中さん

(☎03113)

普通救命講習を開催します

～ファミリーサポートセンター講習会～

▼日時 6月27日(水) 13時～16時

▼場所 しんた21多目的ホール

▼対象 市内に居住または通勤する18歳以上の方

▼定員 30人（申込順）

▼講師 市消防救急救命士

▼内容 『とっさの時の救急法』

▼受講料 無料

※受講者には普通救命認定カードが発行されます。昨年度、受講され

た方は認定カードを持参してください。

▼申し込み 6月13日(水)までに電話または直接登別市ファミリーサポートセンター(☎0033)

マスターズ水泳教室 参加者募集

～登別水泳協会主催～

▼日時 6月14日(木)～7月14日(土)までの毎週木・土曜日(全10回) 18時～19時30分

▼場所 市民プール

▼対象 初心者で、市内に居住または通勤・通学する18歳以上の方

▼定員 50人(申込順)

▼受講料 2千500円(保険料含む)

▼持ち物 水着、プールキャップ、バスタオル

▼申し込み 電話で市民プール

(☎5588)

あなたの家の古い電話帳を回収します

NTT東日本では、地球環境保護のため、古くなった電話帳を積極的に回収し、資源のリサイクルを図っています。

新しい電話帳(6月中にお届け予定)を受け取られた際に、古い電話帳を配達員にお渡しください。また、お渡し出来なかった方は、後日回収しますので左記までご連絡ください。

▼問い合わせ NTT東日本(フリーダイヤル01200506309)

第9回

ラブグリーンフェスティバル in KAMEDA

日時 6月9日(土)・10日(日) 10:00～18:00 (10日は16:00まで) 場所 亀田記念公園(富岸町3丁目)

みどりのコーナー

みどりの市 9日(土)・10日(日)

・庭木、観葉植物、草花、盆栽などの販売

押し花教室 9日(土)10:00受付、10日(日)10:00受付

・押し花インストラクターによる押し花づくりの基礎(花の押し方、保管など)、押し花メルヘン動物などの説明や実技教室を行います。

▶定員 15人(申込順)

▶参加料 800円(材料費・当日持参)

▶申し込み 6月4日(月)から電話で公園管理事務所

花クラブ・トールペイント

・花の寄せ植えの展示、プランタースティックの展示・販売

苗木配布 10日(日)

・ツツジの苗木を無料で配布します。

▶整理券配布 13時(先着250人、1人1株、大人の方限定)

▶苗木の配布 14時

盆栽展 9日(土)・10日(日)

・盆栽の植え方、せん定の方法などを講師が指導します。また、盆栽持参の方には、実技指導を行います。

遊びのコーナー

森の工作室 9日(土) 10:00～16:00

・自然にあるものを利用して工作物を自由に作ります。

ウオークラリー 9日(土)10:30受付、10日(日)12:30受付

・公園内全域にポイントを設け、各種の問題を解きながら1周して、正解と時間を競います。

ジャンケン大会 10日(日) 15:00～

・勝った方50人に登別マリンパーク入場券を差し上げます(対象:中学生以下)。

ジャブジャブ川金魚すくい 10日(日) 11:00～

特別参加

・登別太鼓『夢童』の太鼓演奏…9日(土) 13時～

・幌別西小学校『てんてこ舞』による『よきこいソーラン』…9日(土)・10日(日) 13時30分～

※このほか、両日にわたり、飲食コーナーや地場物産品コーナー、露店、臨時郵便局などが開設されます。

申し込み・
問い合わせ

公園管理事務所
(亀田記念公園内☎2511)

かると

7月の粗大ごみ収集

粗大ごみの収集は、地域ごと決められた年2回の収集時期に、電話の申し込みにより行います。

粗大ごみを出すときは（1回につき5品まで）、1枚160円のごみ処理券を購入の上、1品ごとにごみ処理券を張ってください。

▶**申込方法** 収集日初日の2週間前から収集日初日まで（土・日曜日、祝日を除く）の9時～17時に電話で環境資源課へお申し込みください。

7月の粗大ごみの収集日・地区		
地区名	収集日	申込期間 (土・日曜日、 祝日を除く)
鷺別町4～6丁目	7月2日(月) ～7月7日(土)	6月18日(月) ～7月2日(月)
大和町・栄町	7月9日(月) ～7月14日(土)	6月25日(月) ～7月9日(月)
若山町	7月16日(月) ～7月21日(土)	7月2日(月) ～7月16日(月)
登別東町	7月23日(月) ～7月28日(土)	7月9日(月) ～7月23日(月)
桜木町	7月30日(月) ～8月4日(土)	7月16日(月) ～7月30日(月)

※このほかの地区の収集日については、『家庭ごみ収集カレンダー』に掲載しています。また、今後の『広報のほりべつ』でも紹介していきます。

**申し込み
問い合わせ** 環境資源課 (☎852958)

出張税務相談を開催します

不動産の譲渡、相続・贈与の税金、パートで働いた場合の税金、住宅を取得した場合の還付金など、税金に関する相談を札幌国税局税務相談室苫小牧分室税務相談官が無料でお受けします。

▶**日時** 6月27日(水) 10時～15時

▶**場所** 婦人センター

▶**問い合わせ** 札幌国税局税務相談室苫小牧分室
(☎0144⑥6611)

『のぼりべつ豊水まつり』のボランティアを募集します

登別の夏のイベント『のぼりべつ豊水まつり』が7月14日(土)・15日(日)に開催されます。

みんなで成功させるために、運営ボランティアを募集します。

▶**申込期限** 7月13日(金)まで（当日も受付します）

▶**場所** らいば公園周辺

▶**募集内容** イベント会場全般の会場運営・管理スタッフ

▶**申し込み** のぼりべつ豊水まつり実行委員会事務局(登別商工会議所内☎4111)

『おにたま講座』を開催します

『市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会』が『鬼のたまご協議会』に生まれ変わりました。

新世紀を迎え、市のまちづくりの出発は「人間」についてを考えてみたいと思います。題して『おにたま講座』。

「登別地域大学」と共に、「北海道大学教育学部・大学院教育学研究科公開講座」を誘致し、年間5回の講座を開催します。

▶**応募資格** どなたでも受講できます

▶**募集期間** 6月1日(金)から30日(土)まで

▶**定員** 50人

▶**受講料** 年6,800円

※受講者には修了証書が授与されます。

▶**一般聴講制度** 第2回講座から第5回講座には一般聴講制度があります（1講座1,000円）

▶**講座** テーマ『新世紀の人間学—あらたな人間発達の科学を求めて—』

▶**第1回講座** 開催日時…7月8日(日) 13時～17時

場所…北海道大学教育学部207教室

※講座会場が札幌市で開催のためバスがです。

▶**共催** 鬼のたまご協議会・登別地域大学・教育委員会

▶**申し込み** 受講料を添えて鬼のたまご協議会事務局(登別商工会議所内・☎4111)

第2～5回講座の予定

	開催日	時間	場所
第2回講座	9月10日(月)	18:30～20:30	市民会館
第3回講座	10月16日(火)	18:30～20:30	市民会館
第4回講座	11月12日(月)	18:30～20:30	市民会館
第5回講座	12月5日(水)	18:00～20:30	市民会館

※詳しくは、今後の「広報のほりべつ」でお知らせします。

『おにたま散策会』の参加者募集

おにたま協議会では、自然景観マップを利用してふるさとの名所再発見の散策会を開催します。

▶**月日** 7月1日(日)

▶**時間・場所**

・鷺別コース(鷺別公民館～鷺別岬)…10時～12時(受付9時30分から・鷺別公民館前集合)

・幌別コース(川上公園～望洋公園～来馬川～幌別川～川上公園)…9時30分～12時(受付9時から・川上公園集合)

※現地までは各自でご参集ください。

▶**用意するもの** 運動靴、雨具、タオル、手袋

▶**参加料** 300円(保険料含む)

※小学生以下は、父母同伴。

▶**申し込み** 住所、氏名、年齢、性別、希望散策コース、連絡先を記入の上、ファックスまたはハガキで鬼のたまご協議会事務局(登別商工会議所内中央町5-6-1・FAX☎4199)(電話などでの受け付けはしません。)

6月1日から7日は
水道週間です

健康を守り、生活を豊かにはぐくむ水道は1日も休むことなく活動を続けています。衛生的に安全な水を豊富に送り出す水道を考え、理解と関心を高め、水道の健全な発展を図るため設けられた全国規模で行うイベントが「水道週間」です。

水道部は、水道事業の現状などについて、みなさんに理解を深めていただくため、水道週間に合わせて次の行事を行います。

浄水場の施設見学会

- ▶日時 6月20日(水) 午前の部…9時30分～12時、午後の部…13時30分～16時
 - ▶定員 午前・午後の部それぞれ19人(申込順)
 - ▶対象者
 - ・午前の部…幌別川から室蘭市寄りにお住いの方
 - ・午後の部…幌別川から白老町寄りにお住いの方
- ※市バスに乘車していただきますが、乗車時間・場所などについては、後日連絡します。
- ▶申し込み 6月13日(水)までに電話で業務課(☎5501)



水道パッキンの無料取り替え

登別管工事業協同組合の協力により、水道パッキンの無料取り替えを行います。

なお、給水栓(蛇口)の種類によっては、有料となる場合がありますので、お申し込み時にご確認ください。

- ▶取替日時 6月14日(木)
・15日(金)
- ▶申し込み 6月8日(金)
までに電話で工務課(☎5510)



水道もの知りクイズ

みなさんに水道事業の現状を、より理解していただくため〇×方式のクイズをつくりました。

- ▶応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、「クイズ①～×」というようにクイズ番号の横に〇または×を表示してください
- ※メモ用紙などに記入して直接、持参していただいても受け付けします(ファックス、電子メールでも受け付けします)。
- ▶申込期限 6月19日(火)までに業務課あてに郵送(必着)してください
- ▶賞品 全問正解者には、賞品として図書券を贈呈します

※正解者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます(正解者多数の場合は抽選)。また、クイズの答えは、広報のぼりべつ7月1日号で発表します。

▶郵送先・問い合わせ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地 業務課(☎5501・FAX5805・Eメール suidoubu@city.noboribetsu.hokkaido.jp)

- クイズ①…市内にある浄水場(川の水を飲料水にするための施設)の数は4カ所である。
- クイズ②…市内にある配水池(浄水場できれいになった水を各地区ごとにためておく施設)の数は12カ所である。
- クイズ③…みなさんのご家庭などに水道水を届けるため市内に網目状に埋められている市水道部所有の配水管の総距離は200^{キロメートル}である。
- クイズ④…みなさんのお宅の使用水量を調べるための水道メーターは市の所有物である。
- クイズ⑤…みなさんに安全でおいしい水道水をお届けするため水道部が定期的に水質検査を行っている。
- クイズ⑥…水道管などが故障した場合は、市が指定した水道業者でなければ修理できない。
- クイズ⑦…みなさんのご家庭で使用している水道水の1日当たりの水量は、1世帯当たり平均で400^{リットル}である。
- クイズ⑧…川から水を取る量の権利が少ないため、その不足分の水を室蘭市から買っている。
- クイズ⑨…水道事業を運営するための財源は、そのほとんどが税金でまかなわれている。
- クイズ⑩…市水道部は、財政の健全化と安定給水を確保するため、7月1日から水道料金を値上げする。



▲自然の素材を使っていろいろな工作物づくりを体験

▶森の工作室



▼ツツジの苗木の無料配布



▲太鼓演奏

花と緑と鳥のさえずりを
楽しみませんか

好き
このまちが



亀田記念公園で、子どもから大人まで楽しめる初夏のイベント『第9回ラブリーンフェスティバル in KAMEDA』を開催します。
新緑に包まれ、藤やツツジなどの花が咲く亀田記念公園に、ご家族おそろいでお越しください。
▼日時 6月9日(土)・10日(日) 10時～18時(10日(日)は16時まで)
▼場所 亀田記念公園(富岸町3丁目)
※詳細は15ページの『情報あらかると』をご覧ください。
▼臨時無料駐車場 登別サテライト駐車場 ※公園内の駐車場は、イベント会場となるため、登別サテライト駐車場をご利用ください。また、緊急車両の交通障害や近隣にお住まいの方の迷惑になりますので、公園周辺の道路や空き地への駐車は固くお断りします。
▼問い合わせ 公園管理事務所 (亀田記念公園内 ☎2511)

と な り ま ち ・ ホ ッ ト ラ ン

白老町

～わらび座創立50周年記念作品～
『【歌舞集】21・飛翔』白老公演

太鼓の力強いリズムと、歌舞の華やかさで多様な人間性を表現する『劇団わらび座』の公演は、半世紀にわたり全国各地の舞台上で感動を呼んできました。

命の輝きと、新時代の鼓動あふれる魅力いっぱい公演をぜひご覧ください。

- ▶日時 6月21日(木) 開場18時
- ▶場所 白老町コミュニティーセンター
- ▶入場料 大人2,000円、小中高生1,000円
- ▶問い合わせ わらび座白老公演実行委員会 (☎0144⑧4567)

室蘭市

だんパラ公園に
遊びに来ませんか

室蘭岳山麓の総合公園(通称だんパラ公園)には、みなさんが楽しめる野外施設が数多くあります。自然豊かな高原で、家族や仲間と初夏のレジャーを楽しんでみませんか。

- ▶主な施設 散策路、遊び広場、テニスコート、グラウンドゴルフ・パークゴルフ場、野外ステージ、キャンプ場、宿泊研修施設(サンパワー380)など
- ※一部施設には使用料金ががかかります。
- ▶問い合わせ サンパワー380 (☎④6055)

伊達市

アイヌ民族の伝統儀式
『カムイノミ』を開催します

自然の恵みに感謝し、自然と共に生き、そして、自然と人間を深く愛するアイヌの人たち。

今年も神様をまつり、先祖を供養する『カムイノミ・イチャルパ』を開催します。伝統儀式の再現や古式舞踏の披露、ムックリの演奏などを行います。ぜひお越しください。

- ▶日時 6月24日(日) 11時
- ▶場所 有珠善光寺自然公園
- ▶問い合わせ 社会福祉課 (☎0142②3331内線312・316)